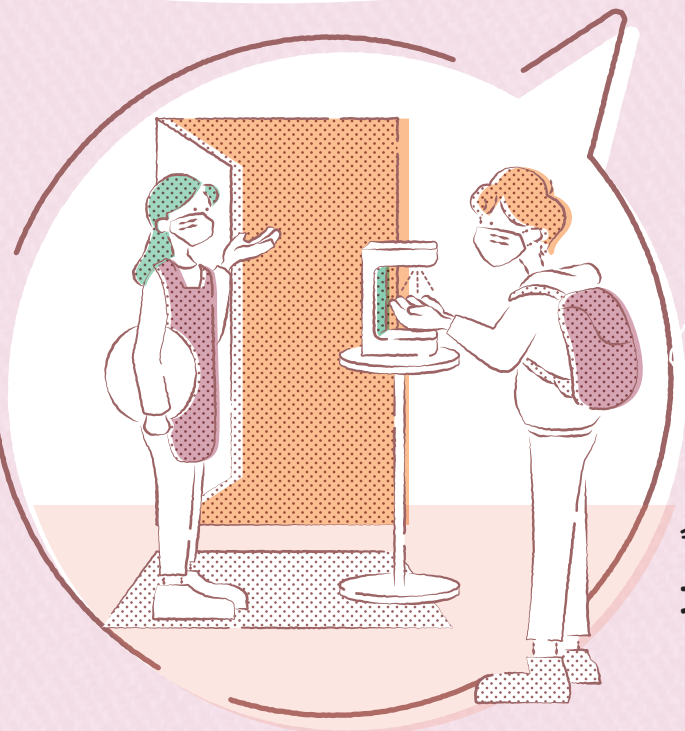




商店街における
**感染症対策
事例集**



令和4年1月
埼玉県

◆ 本書について

県では、コロナ禍においても商店街の来街者に安心して買い物をしてもらえるよう、また、それにより商店街及び各個店が事業を継続していけるよう、全ての商店街に感染症対策を徹底していただきたいと考えております。

本書は、商店街や各個店が感染症対策を実施する際に参考にもらえるよう、取組の事例を紹介するものです。ぜひ御活用いただき、さらなる取組を進めていただきますようお願いいたします。

◆ 埼玉県の制度について

埼玉県が実施している感染拡大防止の制度の一部を紹介します。県ホームページで詳細を御確認の上、御利用ください。

彩の国「新しい生活様式」安心宣言

事業者の皆様にご徹底した感染防止対策と経済活動継続の両立を目指していただくための取組です。店舗等をご利用の県民の皆様にもより安心できる環境を提供することが可能となります。安心宣言の8項目の内容を遵守いただければすぐに宣言・店頭掲示いただけます。

STEP1

STEP2

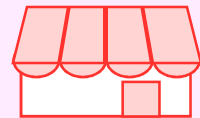
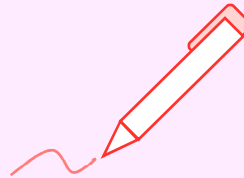
STEP3

STEP4

アクセス

埼玉県 安心宣言 検索

1	5
2	6
3	7
4	8



宣言の内容確認

宣言ダウンロード

宣言日・名称記入

宣言を店頭掲示

埼玉県 LINE 公式アカウント

「埼玉県-新型コロナ対策パーソナルサポート」

御自身の体調や病歴、御自宅の郵便番号などの情報から、その方に合った適切な行動に向けた情報を提供するサービスです。

「埼玉県指定 診療・検査医療機関」の検索システムにアクセス可能で、新型コロナに関する各種情報を簡単に入手できます。

友だち追加



埼玉県 LINE コロナお知らせシステム

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的としたシステムです。不特定多数の人が利用する施設等に QR コードを掲示し、その場所を訪れた方に QR コードを読み込んでもらいます。後日、利用者が陽性となった際に保健所の判断により、その方と濃厚接触の可能性のある方に対してお知らせします。安心の提供と、感染拡大の防止のために役立つ機能です。

◆ 埼玉県の制度

彩の国「新しい生活様式」安心宣言飲食店+（プラス）認証制度

埼玉県内の飲食店を対象として、適切な感染防止対策を推進するための制度です。個別に事業者を訪問し、業種別ガイドライン等を遵守する事業者に対し、認証ステッカー（彩の国「新しい生活様式」安心宣言飲食店+）を交付します。

【案内チラシ】



【解説動画】



認証ステッカー

飲食店等における「ワクチン・検査パッケージ制度」について

「ワクチン・検査パッケージ制度」とは、来店者のワクチン接種歴や陰性の検査結果を確認することにより、飲食店等の人数制限やカラオケ設備の提供制限が緩和される制度です。

宴会の場やカラオケ設備を提供する事業者の方にはメリットが大きいです。

ワクチン・検査パッケージの適用を受けるためには、あらかじめ県に登録する必要があります。

詳細は以下県 HP を御確認ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0801/vt-package.html#touroku>



商店街のイベントの開催について

商店街で以下の3点に該当するイベントを実施する場合は、事前に県へ「感染防止安全計画」を御提出ください。

- (1)参加予定人数が5,000人超
- (2)収容率50%（収容定員の50%）超
- (3)大声なし

また、「感染防止安全計画」を策定しない場合、イベント主催者がチェックリストを作成し、主催者等のホームページ等で事前に公表してください。

詳細は以下県 HP を御確認ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0401/covid19/anzenkeikaku.html>



埼玉県マスコット
「コバトン」「さいたまっち」



埼玉県マスコット
「コバトン」「さいたまっち」

所沢プロペ商店街振興組合（所沢市）

所沢駅を出てすぐにある県内有数の通行量を誇る商店街。来街者は生活道路として利用する人も多く、幅広い年代に利用されている。店舗の構成としてはチェーン店が多い。

商店街全体での取組

- ・コロナ流行当初は消毒液が手に入りにくかったため、店舗に消毒液を配布した。また、非接触で消毒できるようにセンサー式ディスペンサーも配布した。ある程度感染症対策用品が手に入る状況になったら、店舗によってニーズが変わってくるので、コロナ対策経費を現金支給した。本商店街はチェーン店が多く、対策状況が店舗によって違うため、特に自由度が高い現金支給は喜ばれた。
- ・店舗に対し、県の「彩の国『新しい生活様式』安心宣言」を利用するように促した。
- ・希望店舗に対して、従業員の PCR 検査が商店街で受けられるようにした。
- ・商店街の放送で、来街者に対し感染症対策の呼びかけを行っている。

今後の課題・取り組みたいこと

- ・台風や新型コロナウイルスの流行により、集客イベント（ところざわまつり）が 3 年連続で中止になっている。通行が困難になるほど人が集まり、店舗の売上も上がるため、なんとか再開できるようにしたい。
- ・商店街の課題としてもっと個性が出ると良いといった意見が挙がる。また、家賃が高く、個人店が入りにくいといった課題もある。この両者を解決するためにも、例えばグルメイベントを実施し、グランプリになった店舗の家賃補助を行うといった特典をつけるなどして、個人店を誘致できると良い。このようなイベントや個人店が増えることが商店街の個性につながると良い。
- ・感染症対策を行いながらイベントをするためには、非接触がキーワードになる。スマホを使ったスタンプラリーなど用いて、回遊性を高めたい。

店舗の感染症対策の取組状況

美容室 A

▼入店前の手指消毒と入店後検温の徹底



▼各席にサーキュレーターで換気



美容室 B

▼入口での検温・消毒



▼感染症予防対策ポスターの掲示



▼手で触れるペンや椅子、ブラシ等の毎度の消毒



▼雑誌を読むお客様のためのビニール手袋



繊維製品専門店

▼レジ前のビニールシートと注意書きの掲示



▼入口のポスター掲示



◆ 商店街の取組

新狭山北口商店会（狭山市）

個人店が9割を占める地域密着型の商店街。シンサヤママーケットを定期開催しており、来街者が増加している。近くに大学があり、学生が催し物に参加することも多い。

商店街全体での取組

- ・県の補助金で全店舗に検温付きディスペンサーを配布した。来店者の安心感もあり、好評だった。
- ・県や市の感染症対策情報を店舗に紙で配布するなど、情報提供を行っている。高齢の店主は自ら情報を取得するのが難しいため、訪問の機会に話をするようにした。
- ・マスクや消毒液が入手困難の時期は、商店街から店舗に配布を行った。
- ・店舗間の連携がとれている商店街のため、情報交換をして協力しながら感染症対策を行っている。
- ・シンサヤママーケットでは、感染対策をしっかり行った。（出店者間の距離を確保する/チョークでレジ列の立ち位置をマークし、ソーシャルディスタンスを確保/ボランティアの大学生に参加してもらい、検温を実施。検温済シールを配布 など）

今後の課題・取り組みたいこと

- ・売上が落ちている中、どのように売上を回復していくかを改めて検討していきたい。
- ・これまで行ってきた感染症対策を徹底していきたい。加えて、新しい対策方法がないか情報収集を行っていく。
- ・シンサヤママーケットの開催数も徐々に増やしていきたい。マーケットの開催により、新規顧客を引き込むことができてきている。コミュニケーションの窓口にもなっており、商店街の出店者が増えるなど効果が出てきている。マーケット開催前は客数が伸び悩んでいた店舗が、マーケットで認知してもらい、固定客を獲得することができたという話も聞いている。

店舗の感染症対策の取組状況

飲食店

- ▼入店時の手指消毒・検温
席数を削減し、密を回避



- ▼入口にコロナ対策ステッカー
張り紙等の掲示



彩の国
「新しい生活様式」
安心宣言



彩の国「新しい生活様式」
安心宣言飲食店+
(プラス) 認証制度

酒店

- ▼入店時の手指消毒・検温



化粧品店

- ▼コロナ禍に適した商品の提案



- ▼手指消毒の案内掲示



- ▼レジにビニールシートで飛沫感染防止



美容室

- ▼入店時の手指消毒・検温



◆ 商店街の取組

ショーサン通り商店会（上尾市）

駅チカで様々な業種の店舗があり、生活圏の方がメインで利用される商店街。とりわけ主婦やシニア層の利用が多い。シェアスペースを利用した習い事事業により、商店街の利用者の増加を目指す。

商店街全体での取組

- ・商店街の入口に感染症対策を謳った横断幕やのぼりを設置している。
- ・市の協力を得て、空気清浄機を店舗に配布した。大きなテナントはお金をかけて対策が取れるが、小さなテナントはお金がかけられないため、マスクや消毒液ではなく、空気清浄機を選んだ。
- ・外国人が経営している店舗は、感染症対策情報が伝わりづらいため、情報共有やアドバイスなどのサポートを行った。
- ・商店街内のシェアスペースを活用した習い事事業では、講師を集め、英会話・楽器・アートなど様々な習い事を開催する。生徒が商店街に集まることによって、商店街の交流人口を増やし、店舗の売上アップを目指す。感染症対策を行いながら、安心・安全な活動を心がけている。



今後の課題・取り組みたいこと

- ・行政の制度を活用しながら、会費を有効に使っていききたい。
- ・ここ数年中止となっている集客イベントについては、状況が落ち着けば再開したい。
- ・今後の課題は、商店街の活動に対し、アイデアや力を貸してくれる人を増やしていくこと。多くの人の協力が得られれば活動の幅も広がると思う。
- ・感染症を恐れて外出を控えている人に安心して商店街へ来てもらえるよう、取り組んでいきたい。

店舗の感染症対策の取組状況

飲食店 A

- ▼ 空気清浄機の設置
調理スペースだけでなく、ホールにも換気扇を設置



- ▼ テイクアウト対応



- ▼ 電子決済により非接触で支払い

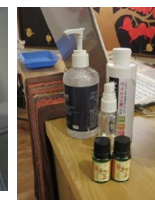


整体院

- ▼ 窓を開けて常に換気



- ▼ 入店時の手指消毒



レンタルスペース

- ▼ 貸し出す前に、手すりなど手を触れる場所を消毒



飲食店 B

- ▼ 飲食スペースにアクリル板を設置



- ▼ 食事中以外のマスク着用の呼びかけ



- ▼ 空気清浄機の使用
アルコール消毒の実施



◆ 商店街の取組

東大宮商工会（さいたま市）

地域住民が多く利用する商店街。近隣の小学校の子ども 110 番の家に商店が参加するなど、子どもたちの安全にも寄与している。龍神伝説といった古くからの言い伝えを由来とした街歩き探検イベントも実施している。

商店街全体での取組

- ・商店街として、手指消毒・マスク着用・密にならないことの啓発を行っている。また、全店舗に消毒液・マスクを配布した。どの店舗にも消毒液があるので、入店時に手指消毒するのがお客様の習慣になっている。
- ・行政書士・司法書士・税理士など専門家を紹介するなどして、店舗の困りごとに相談に乗れるような体制ができています。
- ・GoTo 商店街事業をきっかけに、街歩き探検イベントを企画・実施した。龍神伝説をモチーフに、子どもたちがなぞなぞを解きに店舗をまわり、ゴールを目指すというもの。感染症対策としては、当初予定していたものを変更し、接触が生じるやり取りを非接触に変更した。例えば、導入映像を集まって見てもらう予定を、YouTube 配信にした。ゴール時の演出も変更するなど、臨機応変に対応した。

今後の課題・取り組みたいこと

- ・感染症は接触感染・空気感染など様々な感染経路があるが、これらに対処できるように専門家の指示に従い、対応できるよう引き続き行ってきたい。
- ・キャッシュレス決済の導入などにより、顧客とのやり取りの非接触化を進めて行きたい。同時に、POS レジを導入することによって管理が効率化されるなどのメリットもある。ただし、こういったデジタル化の流れへの適応は、高齢の店主にとっては難しい。
- ・イベントは多くの参加があり、にぎわいがあった。また、子どもたちの地域への愛着につながる大切な行事になるため、今後も継続して行きたい。GoTo 商店街事業は補助金が出たため、しっかりとした準備ができたが、今後は予算と相談しながらの実施。イベントには店舗にも関わってもらい、しっかり売上げアップにもつなげたい。

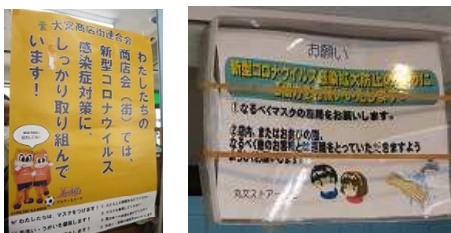
店舗の感染症対策の取組状況

鮮魚店

- ▼会計時の手指消毒
非接触決済のため、QR コードや電子決済の端末、コイントレーを設置

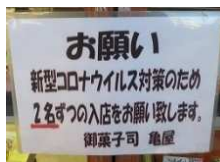


- ▼感染対策に関するポスター
(左:店舗での対策、右:来店客へのお願い)



和菓子店

- ▼来店客へ入店制限を促す
掲示物



- ▼換気のため出入口を
常時開放



印刷・印章専門店

- ▶検温付き消毒ディスペンサー
▼感染症対策ご協力をお願い



商店街お買い物ガイドマップ

- ▼マップ表紙
▼地図上に各店ホームページの QR コードが載っており、スマホで店舗情報の確認が可能に



栗橋ひめプラザ協同組合（久喜市）

敷地内にふれあい広場やコミュニティホール等、交流の場がある商店街。主な来街者は、シニア層や栗橋駅を利用する電車通勤者。源義経の内妻である静御前の縁の地で墓碑があり、静御前墓前祭も開催している。

商店街全体での取組

- ・マスク・アルコール消毒液・ゴム手袋・空気清浄機を各店舗へ配布した。マスクとアルコール消毒液については、使い切ったら商店街の事務所で補充することができる。
- ・県の補助金でキャッシュレス化を開始。現金チャージ可能なポイントカード「K カード」を作成した。普及が進んでおり、さらなるバージョンアップとしてアプリとの連携を進めている。現在は店頭でチャージしているが、バージョンアップ後はアプリ内でチャージできるようになる。またチラシ広告もアプリで閲覧できるようになる。
- ・感染症対策を呼びかけるポスターを作成し、商店街の掲示板に掲示している。また、K カード加盟店のチラシやクラッセ栗橋のチラシに、商店街が行っている感染拡大防止対策を記載して、来街者に周知している。

今後の課題・取り組みたいこと

- ・密を減らすことが課題となっている。人との接触や、密を避けることは、接客業で従業員も多くない我々にとっては難しい。
- ・高齢者の方を対象に、商店街へのタクシー送迎を実施したい。宅配で商品を届けるという手もあるが、商店街に来て買い物していただくことで会話が生まれ、お客様が元気になってくれると思う。現在はタクシーの費用が捻出できず、実現できていない。送迎料の補助が出れば実行しやすい。
- ・人が集まるイベントを再開したい。例えば、子どもたちを集め、広場を新しくペイントするイベントを行いたい。幼稚園児の手形を押すことでにぎやかなイベントになるだけでなく、子どもたちの思い出に残り、大人になった時に商店街へ足を運ぶきっかけとなるかもしれないと考えている。

店舗の感染症対策の取組状況

和菓子店

▼入口に消毒液、掲示物を設置

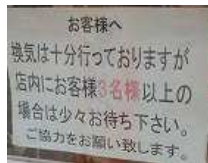


精肉店

▼対面する場所にアクリル板を設置



▼入店制限についての掲示物



鮮魚店

▼消毒液を設置



パン屋

▼入口にディスペンサーを設置



歯科医院



飲食店 A

▼客席に感染対策関連のポスターを掲示



CD ショップ

▼商店街で配布した空気清浄機



飲食店 B

▼従業員・客の間に遮蔽シートを設置



◆ 感染症対策セルフチェック

商店街感染症対策セルフチェック

県では、商店街及び会員店舗の感染症対策の実施状況を把握する「商店街感染症対策セルフチェックシート」を作成しています。「どのような対策が必要なのか?」「自分の商店街または店舗はどのくらい対策ができているのか?」を確認するため、ぜひ御活用ください。

【商店街用】



【個店用】



チェック項目（一部抜粋）

1	毎時の換気を行っている。
2	入口等に消毒設備を設置している。
3	入口等に体温計を設置している。
4	鼻水・唾液のついたごみはビニール袋等に入れて密閉している。
5	トイレの蓋を閉じて汚物を流すように表記している。
6	共通タオルを使用していない。
7	手の触れる場所の消毒をしている。
8	店舗において、お客様が身に着ける物や従業員が身に着ける物をこまめに洗濯している。
9	従業員が手洗いや手指の消毒を徹底している。
10	従業員がマスクを着用している。
11	対面場所を遮蔽している（アクリル板等のパーテーションによる仕切りなど）。
12	一定の数以上の入場制限を設けている（必要に応じて屋外で待ってもらっている）。
13	店内では、適切な距離をできるだけ2mを目安に（最低1m）確保している。
14	会計時に、電子決済やトレーの利用等により、接触を回避する工夫をしている。
15	閉鎖空間で激しい運動をすることや大声を出すことをしていない。行わせていない。
16	発熱などの症状がある方の入店の制限を行っている。
17	お客様に対し、咳エチケットやマスクの着用を励行いただいている。
18	飲食店では、スプーン・箸等の食器の共有、回し飲みなどを避けるよう注意喚起をしている。
19	飲食店では、持ち帰り等も推奨している（持ち帰り等のある店舗の場合）。
20	事前予約を最大限に活用している。
21	高齢者や持病のある方へ配慮している（高齢者利用時間の設定など）。
22	症状のある従業員の出勤を制限している（従業員がいる場合）。
23	一度に休憩する人数を制限している（複数の従業員がいる場合）。
24	在宅勤務やオンライン会議を行うよう努力している。
25	ローテーション勤務、時差通勤を行うよう努力している（従業員がいる場合）。



埼玉県マスコット
「コバトン」「さいたまっち」

商店街感染症対策セミナー（YouTube 動画）

商店街のみなさまに感染症対策に関する知識をより深めていただくためのセミナー動画です。埼玉県公式 YouTube アカウント「サイタマどうが」より配信しています。

【内容】

- ・専門家による「知っているようで意外と知らない感染症の基礎知識」
- ・県内商店街関係者による「イベント開催時の感染症対策の取組事例」
- ・県による事業説明（動画内で紹介している補助金の募集は終了しています。）



埼玉県 産業労働部 商業・サービス産業支援課
〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号
TEL : 048-830-3761 FAX : 048-830-4812